数学通信①

　いよいよ、中学一年生にとって、初めての定期テストが来週に迫ってきました。お子様のテストの準備は万全でしょうか？今回は、ご家庭でも簡単に、**楽しみながら、学習できるゲーム**を紹介します。

用意するもの・・・トランプ１セット

ルール・・・トランプのマークで黒いもの（♠、♣）は正の数（＋）

　　　　　　例：♠Ａ→＋１、♣Ｋ→＋１３

トランプのマークで赤いもの（❤、♦）は負の数（－）

例：❤Ｑ→－１２、♦Ｊ→－１１

　　　　　　ジョーカーは、０（できれば２枚あるといい）

ゲーム①　数の大小ゲーム

ルール１　全員にカードを均等にすべて配る（裏にして）

ルール２　カードの中身は見ないで、同時に１枚ずつ出す。

ルール３　※もっとも大きい数の人の勝ちで、カードをすべてもらえる。

ルール４　同じ数だったら、該当者だけで、延長戦。

ルール５　最後まで、繰り返して、自分の手待ちのカードがすべてなくなったら負け。

例：♦５（－５）＜♠２（＋２）　♦５（－５）＞❤７（－７）

　　　　負け　　　　勝ち　　　　　勝ち　　　　　負け

※もっとも大きい数→もっとも小さい数→絶対値（＋－のない数字だけ）の大きい→絶対値（＋－のない数字だけ）の大きい　と途中で変えると、面白いし、勉強になる。

ゲーム②　数の和ゲーム（ドボンゲーム）

ルール１　全員にカードを２枚ずつ配る（裏にして）

ルール２　一人が残ったカードの山（裏にして）から、１枚とって、３枚にする。

ルール３　その中から好きな１枚を場に表にして出す。

ルール４　他の人の２枚のカードの和が、場に置いた数だった場合、「ドボン！」と言って全員に公開する。

ルール５　全員で確認して、間違っていなかったら、ドボンと言った人の勝ち。言われた人の負け。

例：

　　　　　　　　　　　Ｂくん　❤３（－３）　♦２（－２）　＝－５　勝ち

ドボン！

Ａくん　　　　　　　　　　　　　　　❤５（－５）　　　　　　　　　　　Ｃくん

♠Ａ♣８　❤５（－５）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　❤６（－６）　♠５（＋５）　＝－１

負け

※１　ドボン返しもあります。（くわしくはお子様にお聞き下さい。）

※２　応用として、２枚を３枚、４枚・・・と増やしたり、２枚の引き算にしたりしてもいい。

ゲーム①、②とも、計算など、大変だったら、Ａ～１０のカードでやってみるといいです。

**数学クイズのコーナー**

①次の**□**に入るマークは

どんなマークでしょう。

②ある有名小学校の入学試験問題です。次の数字はどんな規則で並んでいるのでしょう。

０　,　１０　,　１１１０　,　３１１０　,　１３２１１０　,　１３１２３１１０　,　２３１２４１１０

※なんと、実際のテストでこれができた子が１人いたそうです。答を知れば簡単ですが、なかなか解けるものではありません。